

平成30年7月17日(火) 12970号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832
 東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップレーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

6月商品取引高

金標準、ゴールドスポット

前月・前年同月比でプラス

東京商品取引所

東京商品取引所(TOCOM、濱田隆道社長)が発表した2018年6月の1日平均商品取引高で、貴金属は金標準やゴールドスポットの取引が好調だった。

金標準は前月比16.6%増の3万3,298枚で、3か月ぶりのプラス転換。前年同月比でも27.2%のプラスで、5月に続き前年実績を上回った。ゴールドスポットは1万3,900枚で、前月比9.4%、前年同月比15.2%のそれぞれプラス。金ミニは3,440枚で、前月比は6.6%減少したものの、前年同月比では12.6%のプラスとなった。

プラチナ関連は、白金標準が前月比26.0%、前年同月比11.5%それぞれ増加し1万1,601枚。プラチナスポットは6,096枚で、前月比は27.7%増加。一方、前年同月比では32.6%のマイナスで、5月に続いて減少幅が2桁となった。白金ミニは631枚で、前月から31.7%増加した。

TOCOMは、金相場の6月の動向について、米中貿易摩擦への懸念から中旬には相場が急落したと指摘。月末にかけてはドル高の進行を受けてニューヨーク商品取引所(COMEX)の金相場が軟調となる中、TOCOMの金先物価格も下げ幅を拡大したと説明した。

18年6月商品取引高

先物取引	1日平均取引高(枚)	前月比(%)
金標準	33,298	16.6
金ミニ	3,340	▲6.6
ゴールドスポット	13,900	9.4
銀	97	44.8
白金標準	11,601	26.0
白金ミニ	631	31.7
プラチナスポット	6,096	27.7
パラジウム	141	34.3
金オプション(コール)	64	3.2
金オプション(プット)	63	1.6
ドバイ原油	19,995	▲13.8
バージガソリン	3,221	8.1
バージ灯油	699	18.7
バージ軽油	0	—
バージガソリンスワップ	15	0.0
バージ灯油スワップ	15	0.0
バージ軽油スワップ	15	0.0
ローリーガソリンスワップ	15	0.0
ローリー灯油スワップ	15	0.0
ローリー軽油スワップ	15	0.0
中京ローリーガソリン	35	2.9
中京ローリー灯油	12	▲25.0
ゴム	6,505	▲3.0
とうもろこし	897	▲11.9
大豆	29	314.3
小豆	27	▲42.6
合計	100,840	6.8
現物取引		
金(100g)	1	0.0
金(1kg)	0	0.0
合計	1	0.0
先物+現物合計	100,841	6.8

▲はマイナス



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
 電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
 電話 06-6561-7331~2

住友電工

インド貨物専用鉄道向け

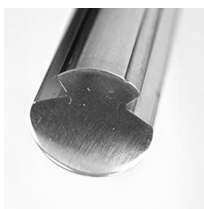
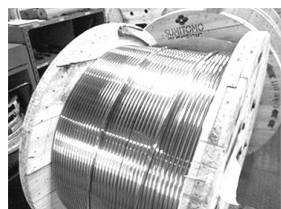
電車線（トロリー線）の納入開始

住友電気工業（井上治社長）は、インド政府が進めている貨物専用鉄道建設プロジェクト向けに全長約3,400kmの電車線（トロリー線）を受注した。うち、路線距離約1,340km分について製品の納入が進んでいると明らかにした。同社は、インド市場に初めてトロリー線を納入するとともに、海外鉄道案件のトロリー線受注としては過去最大規模となる。

トロリー線は、鉄道車両や台車、搬送機械等へパンタグラフを通して給電する接触電線。

今回の納入区間は、レワリ～ジャワハルルール・ネルー港間で、2017年12月～19年12月にかけて製品が運び込まれる。

国際協力機構（JICA）とインド政府は、デリーとムンバイの間に貨物専用鉄道を建設し、周辺に工業団地、発電所、道路、港湾、商業施設などのインフラを民間投資主体で整備する産業大動脈（DMIC）構想を推進中。その一環として、貨物専用鉄道西回廊（デリー



住友電工製トロリー線

世界を結ぶ循環流通サービス

原料から製品まで

Ogico OHSITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

～ムンバイ間）と東回廊（デリー～コルカタ間）の貨物鉄道建設を進めている。

西回廊の建設は、インド鉄道省傘下の貨物専用鉄道公社が手掛け、大手商社の双日とインドのLarsen & Toubroのコンソーシアムが電化工事を受注している。コンソーシアムは、住友電工製のトロリー線の優れた耐久性、耐熱性や、国内外の鉄道市場への納入実績等を評価し、同社製品の採用を決めた。



ミャンマー：PanAust社、
ミャンマーにおいて3件の新しい
探鉱鉱区取得を発表

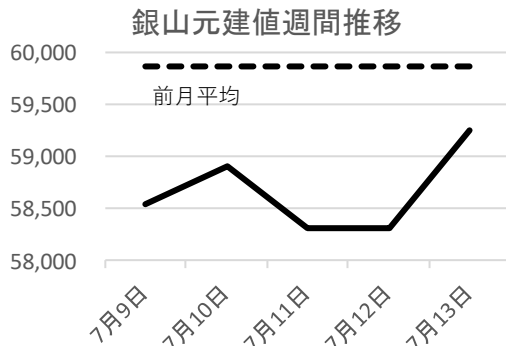
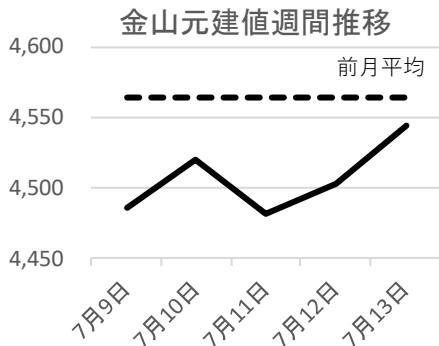
2018年7月6日、中国 国営企業Guandong Rising Asset Management社傘下の豪PanAust社は、ミャンマーにおいて3つの新しい探鉱鉱区を取得したことを

発表した。同社によると、今回の探鉱鉱区取得は同国の新しい鉱業規則下における初めての認可となる。今回認可されたのは、同国サガイン州に存在するTon Kyaung、Taung Kon、Naungphatの3つの探鉱鉱区（総面積は562km²）で、鉱区保有企業の80%をPanAust社が、20%をミャンマー企業であるMyanmar Energy Resources Group社が保有する。



金銀山元建値週間推移

7月9日～7月13日



6月のアルミレポートおよび7月の見通し (2)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎



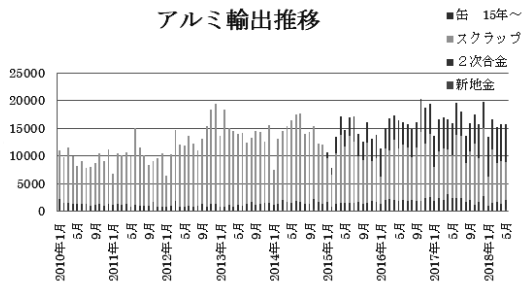
◆貿易指標

輸出

財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前年比+325.1%の417t、二次合金が-29.1%の1,624t、スクラップが-11.6%の6,874t、アルミ缶が+19.3%の6,802t。

輸出	3月	4月	5月
新地金	194 t	53 t	417 t
前年比	+235.7%	-72.6%	+325.1%
二次合金	1465 t	1341 t	1624 t
前年比	-27.5%	-8.5%	-29.1%
スクラップ	7075 t	7755 t	6874 t
前年比	-24.1%	+9.6%	-11.6%
缶	6477 t	6692 t	6802 t
前年比	+15.1%	+3.3%	+19.3%

輸出推移



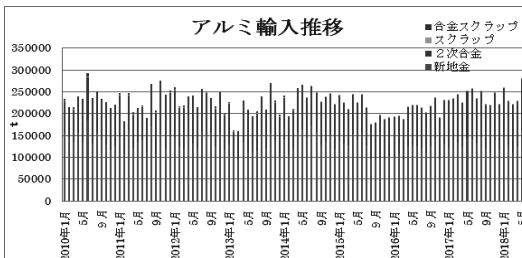
出典 財務省貿易統計

輸入

輸入は新地金が前年比+12.4%の16万2,829t、二次合金が+10%の11万7437t、スクラップが+54.1%の1,065t、合金スクラップは+32.3%の5,137t。

輸入	3月	4月	5月
新地金	11万675t	12万3320t	16万2829t
前年比	-17.2%	+11.4%	+12.4%
二次合金	11万654t	10万4901t	11万7437t
前年比	+0.5%	-5.2%	+10%
スクラップ	534t	594t	1065t
前年比	-22.6%	+11.3%	+54.1%
合金スクラップ	3815t	3842t	5137t
前年比	-13.7%	+0.7%	+32.3%

輸入推移

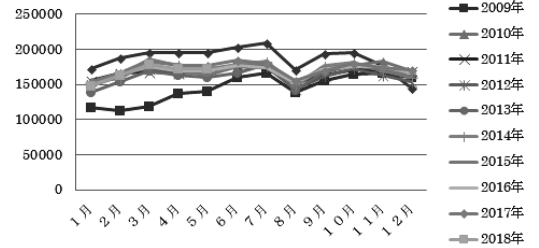


出典 財務省貿易統計

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-2.6%、17万1,768t、5カ月連続マイナス。

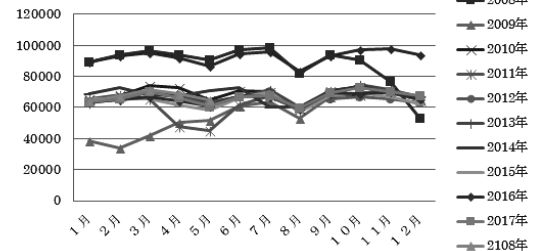
アルミ板類・押出生産合計推移



出典 日本アルミニウム協会

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績は前年比+7.4%の6万5,185tであった。

アルミ2次合金等生産実績



出典 日本アルミニウム合金協会

■概況

【自動車】

4月の四輪車生産台数は77万7,670台で、前年同月比+3.8%となり2カ月連続増加。輸出は34万4,875台で前年同月比+7.7%。

【販売】

6月の国内自動車販売台数(軽は除く)は29万2,761台で前年比-7.3%。2カ月ぶり減少。内乗用車-7.9%、貨物-2.7%、バス-29.3%。

【次号へ続く】

日刊金属

購読料 12カ月 72,000円(税別)
6カ月 36,000円(税別)

外電配信料 12カ月 84,000円(税別)
6カ月 42,000円(税別)



フジメタル工業、7月後半の減摩合金価格を発表

フジメタル工業は、7月後半の減摩合金算定価格を改定、7月17日より適用する。新算定価格は次の通り（ホワイトメタル（JIS規格品）、500キロ以上の大口、キロ当たり円、カッコ内は前回比）。

◇1種 2,710円 (-60)	◇2種 2,635円 (-60)	◇2種B 2,600円 (-60)
◇3種 2,565円 (-55)	◇4種 2,265円 (-50)	◇5種 2,190円 (-50)
◇6種 1,690円 (-35)	◇7種 915円 (-10)	◇8種 825円 (-10)
◇9種 745円 (-10)	◇10種 775円 (-10)	

原料は、錫=2,450 (-60)、アンチモン=1,075 (-20)、銅=760 (-40)、鉛=327 (-4)、亜鉛=355 (-28) となった。

故銅市況

13日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,182.00ドルより9.00ドル安の6,173.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,078.00ドルより109.00ドル高の6,187.00ドル。カーブ取引は前日の6,145.00ドル～6,145.50ドルより83.00ドル高の6,228.00ドル～6,228.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（7月限）は、前日の273.35セントより3.45セント高の276.80セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（7月限）は、前日の4万7,990元より450元高の4万8,440元。

13日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.18円より0.58円の円安ドル高の1ドル=113.76円。NYカーブLME先物比は9.50ドル高。13日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,173.00ドル。この値と13日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の73万9,000円より3,000円高の74万2,000円。この日、電気銅建値は73万円に据え置かれた。

為替動向

13日午前の東京外国為替市場で、円相場は下落した。午前9時の気配値は1ドル=112.64円～112.67円、前日の17時時点に比べ0.31円の円安・ドル高。

12日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は前日の同時刻比1.20円の円安・ドル高、1ドル=112.40円～112.50円だった。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が595～600、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは576～581、並銅は515～520、込銅（高品位＝約97%）は475、セバは462～467。コーベルは要り用筋で453、それ以外は445ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋448、それ以外431～456どころの値頃。並青銅鋳物削粉は447～452どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が598～603、上銅新くずが565～585、普通上銅が532～542、2号銅線が538～548、並銅が503～504、込銅（90-93%）が462～429、下銅が322～372、セバが429～439、コーベルが385～425、黄銅棒地が441～446、黄銅削粉が389～436、黄銅ラジが340～348、交叉ラジが325～336、黄銅銅鋳物が362～369、送りが225～240、上青銅鋳物が457～473、並青銅鋳物が449～462、上青銅鋳物削粉が454～473、並青銅鋳物削粉が447～451どころ。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.54円の円安・ドル高、1ドル=112.49円～112.59円で取引を終了した。

米中貿易摩擦をめぐる新たな動きがなかったことで、安心感から12日のアジア・欧米株式市場が上昇。ニューヨーク市場でも投資家のリスク選好が高まり、低リスク通貨とされる円の売りが優勢となった。6月の米消費者物価指数（CPI）は前月比0.1%の伸びにとどまったが、前年同月比では2.9%の上昇幅となり、米経済の底型さを確認したドル買いも入った。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.37円～112.58円だった。

13日の東京市場でも、海外の円安・ドル高の流れを受けた取引となった。東京株式市場で日経平均株価が続伸していることもリスク選好からの円売りを誘い、一時、今年1月以来約半年ぶりの円安水準となった。

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森下商店

大阪市西成区南津守 7-12-46

TEL (06)6659-5577～8

FAX (06)6659-5579



LME銅は3営業日の続落、下げは小幅 午後の取引ではやや値を戻す
カーブ取引は反発 COMEX銅相場も反発 SHFE銅相場も反発
LME非鉄相場はまちまち ニッケルは安値拾いで急伸
亜鉛は4営業日ぶり反発 鉛は3営業日の続落

13日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,181.00ドルより8.50ドル安の6,172.50ドル。3か月物も、前日の6,194.00ドルより3.00ドル安の6,191.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の26万5,000トンより約3,000トン減のおよそ26万3,000トン（丸め込み）。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（7月限）は、前日の273.35セントより3.45セント高の276.80セント。カーブ取引は、前日の6,145.00ドル～6,145.50ドルより83.00ドル高の6,228.00ドル～6,228.50ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（7月限）は、前日の4万7,990元より450元高の4万8,440元。

錫は反発

LME錫相場の直物は、前日の1万9,442.50ドルより120.00ドル高の1万9,562.50ドル。3か月物も、前日の1万9,302.50ドルより160.00ドル高の1万9,462.50ドル。

鉛は続落

LME鉛相場の直物は、前日の2,243.50ドルより104.50ドル安の2,139.00ドル。3か月物も、前日の2,258.00ドルより100.00ドル安の2,158.00ドル。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,573.50ドルより24.00ドル高の2,597.50ドル。3か月物も、前日の2,552.50ドルより21.25ドル高の2,573.75ドル。

アルミは続落 アルミ合金は上伸 北米特殊アルミ合金は反落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,120.25ドルより16.00ドル安の2,104.25ドル。3か月物も、前日の2,078.50ドルより21.75ドル安の2,056.75ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,765.00ドルより10.00ドル高の1,775.00ドル。3か月物も、前日の1,765.00ドルより10.00ドル高の1,775.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,706.00ドルより43.50ドル安の1,662.50ドル。3か月物も、前日の1,725.00ドルより35.00ドル安の1,690.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ

アルミ二次合金メーカー買値実勢値
 1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(7月前半)
 2S=203円～211円、63S=200円～204円、アルミホイール(1P)=195円～200円、ビス付サッシ=149円～153円、エンジンコロ=155円～157円、込合金(機械鋳物)=151円～153円、缶プレス(ソフト)=118円～133円。

関西地区(7月前半)
 2S=198円～206円、63S=196円～200円、52S=208円～212円、印刷版=201円～206円、アルミホイール(1P)=184円～189円、ベースメタル=208円～213円、機械鋳物=155円～160円、ダライ粉=127円～132円、ビス付サッシ=150円～155円、缶プレス=136円～141円。

112万1,000トンより約1万4,000トン増のおよそ113万5,000トン。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,625.00ドルより427.50ドル高の14,052.50ドル。3か月物も、前日の13,730.00ドルより442.50ドル高の14,172.50ドル。

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22
 TEL 06-6561-3759(代表)

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

LME公式値（単位：ドル）／7月12日（現地）

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,172.50	19,562.50	2,139.00	2,597.50	2,104.25	1,775.00	14,052.50
	前営業日比	▲ 8.50	120.00	▲ 104.50	24.00	▲ 16.00	10.00	▲ 43.50
先物	公式値	6,191.00	19,462.50	2,158.00	2,573.75	2,056.75	1,775.00	14,172.50
	前営業日比	▲ 3.00	160.00	▲ 100.00	21.25	▲ 21.75	10.00	▲ 35.00

海外非鉄金属相場

(7月13日 入電・現地 7月12日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: Item, 前買, 場売, 後買, 場売. Rows include 銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table for NY COMEX market with columns: Item, 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Includes text for settlement and prices for various months.

Table for LME prices with columns: Item, 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Includes text for freight charges and settlement prices.

Table for Free Market and LME inventory with columns: Item, Price, etc. Includes sections for NY market, LME inventory, and NY carb.

Table for Shanghai market with columns: Item, Price. Includes text for settlement and prices for various months.

Table for COMEX and Shanghai prices with columns: Item, Price. Includes text for settlement and prices for various months.

非鉄金属製品相場

(7月13日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	950	980	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	960	990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1120	1180	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1140	1160	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	820	840	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	930	970	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	940	960	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	1010	1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	930	980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1210	1200	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	810	830	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	830	830	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	980	1030	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1360	1300	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1355	1355	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	680	680	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	720	710			
四角棒	750	740	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	730	720	白金(グラム)	◎ 3394	
ネーバル	820	820	パラジウム(グラム)	◎ 3807	
高力	820	820	金(グラム)	◎ 4922	
黄銅線6ミリ	1005	1035	銀(キログラム)	◎ 65440	
黄銅平角線ロール仕上	1210	1250			
黄銅条1.5×100	795	825	レアメタル輸入価格	5月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1980	1960	金属ケイ素(99.99%未満)	256	
〃 バネ用0.3ミリ	2200	2170	モリブデン酸化物	2193	
リン青銅棒25ミリ	2240	2250	タンタル	35353	
リン青銅線3ミリ	2420	2400	マグネシウム	260	
洋白板一般用1.0ミリ	2860	2810	コバルト	9650	
〃 バネ用1.0ミリ	3030	2990	インジウム	34604	

合金鉄	5月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	147
〃 その他	176.9
フェロシリコン55%以上	160
フェロクロム4%以上炭素含有	161.7
フェロモリブデン純分60%以上	2124
フェロバナジウム	5676
フェロニッケル33%未満	432.7
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金	7月17日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	◆ 2710
2種	◆ 2635
3種	◆ 2565
4種	◆ 2265
5種	◆ 2190
7種	◆ 915
8種	◆ 825
9種	◆ 745

銅合金地金	7月2日発表	
(標準価格)	大阪	東京
BC 1種	855	—
2種	1030	—
3種	1075	—
6種	915	—
7種	950	—
YBSC 3種	770	—
LBC 3種	1035	—
PBC 2種	1095	—

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月13日調べ)		インジウム大口(99.99%)		42,000 ~ 46,000(1)		
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場			
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値	
1号銅線	650	647	電 気 銅	◎ 709	◎ 704	◎ 711	◎ 706	山元建値 電気銅	730(12) 金	4544(13)
2号銅線	590		電 気 亜 鉛	322	317	322	317	() 実施日 電気鉛	322(10) 銀	59,260(13)
上銅(新切)	622	621	蒸 留 亜 鉛	313	308	313	308	電気亜鉛	340(11) 錫(99.99%)	3,600(10)
雑ナゲット	560	562	ダイカスト亜鉛2種	252	246	252	246			
並銅	571	569	再生亜鉛(98%)	222	217	222	217			
下銅	544	540	電 気 鉛	302	297	302	297			
銅削粉	547	544	再 生 鉛 1 号	282	275	282	275			
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	286	271	286	271			
新切黄銅セバ	470	486	錫 1 号	2350	2300	2350	2300			
コーベル	446	456	ア ン チ モ ン	1080	1030	1080	1030			
黄銅棒地	448	453	ニッケル(メッキ用)	1750	1700	1750	1700			
黄銅削粉	442	449	コ バ ル ト	10700	10400	10700	10400			
並黄銅	432	421	セ レ ニ ウ ム	4900	4700	4900	4700			
黄銅ラジエター	331	320	ビ ス マ ス	1400	1300	1400	1300			
交叉ラジエター	374	349	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450			
黄銅鑄物	434		水 銀	1800	1700	1800	1700			
山送り	262		アルミ地金99.70%	272	268	274	270			
上青銅鑄物	510		アルミ二次地金99%	217	212	217	212			
並青銅鑄物	496	497	〃 90%	209	204	209	204			
上青銅鑄物削粉	501	491	アルミ二次合金ADC12	319	314	322	317			
並青銅鑄物削粉	488	481	鑄物用C2BS	344	339	346	341			
新切リン青銅(伸銅)		644	青銅合金地金3種	995	985	1030	1020			
〃 (鑄物)	627		〃 6種	865	855	875	865			
リン青銅削粉	528	516	ハンダ錫60%	◆1880	◆1840	◆1905	◆1875			
新切洋白(電子材)	546	530	〃 50%	◆1665	◆1615	◆1690	◆1660			
新切亜鉛	129	129	〃 40%	◆1510	◆1450	◆1470	◆1440			
ダイカストくず	109	109	減摩合金2種	◆2620	◆2590	◆2625	◆2595			
亜鉛ドロス	109	89	〃 4種	◆2250	◆2225	◆2255	◆2225			
上鉛	127	125	〃 7種	◆885	◆835	◆885	◆835			
電池巢鉛ケース込	45	42	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		75	70			
活字鉛	122	119		〃 ダライ粉		60	55			
新切アルミ1級	169	172		13クローム 新切		18	18			
新切サッシ1級	170	173		ハイス 9種		130	130			
新切合金1級	160	163		〃 ダライ粉		—	—			
機械鑄物1級	123	123								
ビス付サッシP	109	112								
合金削粉P	100	100								
込ガラP	90	92								
カン・バラ	83	87								